

第2学年国語科学習指導案

単元名 意見文を書こう

- 教材 1 新聞投稿記事（実際に新聞に掲載された中学生の投稿記事）
「佐賀新聞」日曜版「中学生の意見」のような特集から入手しやすい。
- 2 「根拠を明らかにして書こう 意見を伝える」(光村図書「国語2」)
- 3 投稿記事モデルA～F（授業提案者作成資料）
- 4 「モアイは語る 地球の未来」安田喜憲（光村図書「国語2」）
- 5 「読書活動 情報を検索する」(光村図書「国語2」P156)

1 単元について

佐賀県の中学2年生の実態として、平成21年度4月の佐賀県小・中学校学習状況調査において「読むこと」「書くこと」「言語事項」の2領域1事項に課題が見られたが、「書くこと」では「資料から必要な情報を取り出し、伝えたいことを明確にして書く」ことに課題があると言える。また、「読むこと」では「展開を押さえ正確に理解し、ものの見方をとらえる」こと、および「言語事項(2)イ」、「漢字(特に訓読みで用いられる漢字)を書くこと」も同様である。本授業提案は前述の「書くこと」における課題を抱える生徒を対象としたものである。説明的文章の「読むこと」の学習を終え、事実と考察を区別して読み取る力が身に付き、説明的文章を読むことに対する意欲や、知識・技能が高まっていると思われる時期に設定することとした。本単元では、これを生かして、意見文の書き方を比べ読みにより学び取らせ、「資料から必要な情報を取り出し、伝えたいことを明確にして書く」ことについて課題の解決を図りたい。

本単元は、新聞の投稿記事を主教材として投稿記事を書くという言語活動を位置付け、意見文の書き方を学ぶ単元である。課題の設定、題材の活用、叙述の仕方、構成の仕方などの異なる数種類の投稿記事モデル（または適切な投稿記事）を、意見文の書き方のポイントを学ぶ取る比べ読み教材としたい。また、生徒の課題意識を触発させるような論説文「モアイは語る 地球の未来」を配置し、併せて、相手や条件（様式、字数）に応じて書き方を変える必要があることを学び取らせる比べ読み教材とする。情報の収集に当たっては、図書資料やインターネット資料を活用し、図書資料の検索という情報収集の方法も学ばせる機会としたい。

本単元には、「書くこと」の力を身に付けさせるために、新学習指導要領「B書くこと」の(2)に位置付けられている言語活動例の「イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと」を取り入れた。単元を通して言語活動に取り組みさせることで、生徒の主体的な学習活動を促し、活動を通して知識・技能が習得できるように指導したい。また、生徒が書いた新聞投稿記事を実際に投稿させることで、生徒に社会参画の方途を知らせ、身に付けた知識・技能を活用することに対する意欲をもたせたい。

2 単元の指導目標

- (1) 環境問題や食糧問題などの社会生活にかかわる課題をもたせ、必要な情報を収集・整理し、取捨選択して自分の意見を作り、意見文を書いて新聞に投稿しようとする意欲をもたせる。
- (2) 目的や条件に応じて、意見や立場、根拠を明確にし、分かりやすい構成で意見文を書くことができるようにする。

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	1 自分で設定した課題について情報を集め、立場を明らかにして意見文を書こうとしている。 【B 書くこと(1)ア,イ,ウ】
イ 書く能力	1 意見や根拠を明らかにし、分かりやすい構成で意見文を書いている。 【B 書くこと(1)ア,イ,ウ,エ】 2 書いた文章を互いに読み合い、構成の仕方や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げている。 【B 書くこと(1)オ】
ウ 読む能力	1 文章の表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 【C 読むこと(1)ウ】 2 目的をもってさまざまな文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てている。 【C 読むこと(1)オ】
エ 言語についての知識・理解・技能	1 相手や目的に応じて文章の形態や文章表現の違いがあることを理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(オ)】

4 指導と評価の計画(全8時間)

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
一	1	1 新聞の投稿記事を読んで新聞投稿に関心・意欲をもつ。 2 投稿記事モデルを比べ読みし、「説得力のある意見文の書き方のポイント」を考える。	学習計画表を基に、学習の目標と流れを確認させる。 比べ読みの仕方を確認させ、個別に随時指導する。	ウ-1【話合いの観察・ワークシートの記述分析】
	2	3 「モアイは語る」と投稿記事モデルC、Fを比べ読みし、相手や目的、条件等に応じて書き方が異なることに気付く。 4 学習課題を設定し、学習計画を立てる。	比べ読みをすることにより、同じ事実を述べるのにも、目的や条件に応じて表現の仕方が異なることに気付かせる。 学習計画を立てる際には、モデルを示すなど丁寧な指導を心掛ける。	エ-1【話合いの観察・ワークシートの記述分析】
二	3	5 モデル学習をし、意見文を書く手順を知る。 6 設定した課題について、図書検索やインターネットを利用して情報を集める。	引用した文章の書かれている図書を提示する。 参考資料や参考図書を明確にするよう指導する。	ア-1【調べる様子の観察・ワークシートの記述分析】 ウ-2【調べる様子の観察・ワークシートの記述分析】
	4	7 集めた情報を基に自分の意見を明らかにする。 8 構成法を考えて意見文を構成する。	どの情報を選び取るのかを考えさせる。 学習の手引きを利用させる。	ア-1【ワークシートの記述分析】
	5	9 意見文を書く。	意見文を書く際に、学習計画表に記載しているポイントを参照するよう助言する。	イ-1【ワークシートの記述分析】
	6	10 書いた意見文を推敲して、原稿用紙に清書する。	学習の手引きを利用させる。	
三	7	11 グループで意見文を読み合い、評価し合う。	評価の観点に従って相互評価をさせる。	ウ-2【話合いの観察・評価表の記述分析】
	8	12 各グループの代表者が発表し、意見を交流し合い、学習のまとめをする。	学習を振り返らせ、何を学んだかを確認させる。	